



私も ひとこと

衣川区／菅原 学 さん



合併の真は何処

議員の皆様には24時間市政に尽力頂き感謝を申し上げます。

さて、一般質問の内容を見ておりますと、出身区域のことが多く見受けられます。このようなことは常任委員会、各会派等において調整され、始相長く奥州市全体の討議に時間が費やされるべきではないのでしょうか。

市中心街の振興発展は周辺地区の農林業者の懐具合と両輪であり、しいては消費拡大、市税

の増加に繋がるものと思います。

はたして今の奥州市に合併の真があるのかと思わざるを得ません。新聞・議会広報等をみれば財政難の文字が躍るも、その原因は曖昧であり、議会の場で具体的に市民に示すべきではないでしょうか。

合併してから税金をはじめ色々なものが上がり、補助金カット、事業縮小等、前向きなことを語られない議会が市民の望む姿でしょうか。

改革の一方、大きな夢風呂敷を広げ、奥州市の未来を語る議員の姿が見えないのは私だけでしょうか。

インターネット中継がご家庭でも

インターネットが使用できる環境の方は、ご自宅でもライブ中継・録画中継をご覧になれます。



詳しい内容については、ホームページで紹介していますので、是非ご覧ください。

奥州市議会

検索

アドレスは

<http://www.city.oshu.iwate.jp/htm/gikai/>

議会開会中は、どなたでも議会の傍聴することができます。
12月定例会の傍聴者数 計52人（延べ人数）

あとがき

平成23年3月11日に、千年に一度といわれる巨大地震と津波の発生で、東北地方を中心に大変な被害に見まわりました。復旧・復興については思うように進んでいませんので、師走に入り、あわただしい気持ちになつてきた反面、寒い冬を迎える被災地の方々の生活が思いやられます。新年は、政治の革新に期待し、希望の持てる年にしたいと思わずにいられます。

（編集委員 菅原 明）

議会広報編集委員会

委員長

副委員長

委員

委員

委員

委員

委員

委員

高野 瑞太郎
小池 堅太
加藤 隆夫
高橋 政一
飯島 由一
菅原 明
菅原 正
菅原 和明
菅原 明

議会日誌

- 10月3日 議会広報編集委員会
- 子育て研究部会
- 7日 議会広報編集委員会
- 11日 総務常任委員会所管事務調査
- 12～14日 議会運営委員会行政視察
- 17日 議員全員協議会
- 市政調査会
- 19日 教育厚生常任委員会所管事務調査
- 子どもの権利に関する懇談会（衣川山村開発センター）
- 20日 子どもの権利に関する懇談会（水沢南公民館）
- 21日 子どもの権利に関する懇談会（胆沢文化創造センター）
- 25日 子どもの権利に関する懇談会（前沢ふれあいセンター）
- 26～28日 建設環境常任委員会行政視察
- 27日 子どもの権利に関する懇談会（江刺生涯学習センター）
- 31～2日 産業経済常任委員会行政視察
- 11月7～9日 教育厚生常任委員会行政視察
- 10日 東日本大震災調査特別委員会幹事会
- 建設環境常任委員会所管事務調査
- 14日 市政調査会役員会
- 東日本大震災調査特別委員会
- 全員協議会
- 17日 子育て研究部会
- 21日 議会改革検討委員会
- 22日 子育て研究部会
- 24日 産業経済常任委員会所管事務調査
- 29日 議会運営委員会
- 平成23年第4回定例会（12月2日～12月19日）
- <会期中に開催された委員会>
- 議会運営委員会 3回
- 競馬事業調査特別委員会 1回
- 東日本大震災調査特別委員会 1回
- 総務常任委員会 2回
- 教育厚生常任委員会 3回
- 産業経済常任委員会 1回
- 建設環境常任委員会 1回
- 議会広報編集委員会 2回
- 議員全員協議会 1回
- 12月1日 子育て研究部会
- 5日 東日本大震災調査特別委員会幹事会
- 7日 競馬事業調査特別委員会幹事会
- 子育て研究部会
- 9日 市政調査会
- 13日 東日本大震災調査特別委員会幹事会
- 15日 市政調査会役員会

水沢区／小野寺順子 さん



「子どもの権利に関する条例」

子どもは次世代の宝

子どもの権利に関する懇談会に参加しました。会では議員の方々から子育て研究部会の概要をお話し頂きました。奥州市では「子ども達は次の世代を担う大切な存在である」と、子ども達の視点に立った子育て支援を事実としてあげています。

私は、小学生と中学生の子どもがおります。私達の毎日は、生活の中で親の子どもに託す思いと子ども自身の思いが交わって過ぎていきます。保護者、子ども、学校、社会がどのように関わっていかれるかを意義とした条例の役割を踏まえ、身近な私達が子どもの権利を保障する責務者としてできる事は何かのか考えてみました。

私達は子どもの心を豊かに育て、快く学ぶため、食育を通して子どもの成長を見守ることではないかと思いました。そして、食の安全性も深く考えさせられています。

子どもたちの心が何を求め、私達は何を救えるのか、一つ一つ市と協力して、子ども達が安心して育つ奥州市になることを期待しています。